

踏み跡 <My Mountains>

このところ房総の山・茨城の山・箱根の山・伊豆・・・、目まぐるしくターゲットが変わって行く。それだけ数多くの「登り残した良い山」が存在することを意味する。冬の袋田の滝を見て、付近の山歩きを楽しもうという趣向で大久保君を誘った。今年は寒い冬なので、旨く行くと凍結した袋田の滝を見ることが出来るかもしれない。

平成8年2月3日
京成成田線八千代台駅を6時に出発。日暮里で大久保君と合流して常磐線へ。日暮里発7時05分、天気は晴れ。水戸着9時15分、水郡線は9時24分発。冬らしい冷たそうな景色が車窓を流れて行く水郡線。袋田駅着は10時25分。



滝川に沿って袋田の滝に向かって歩き出したが、さすがに寒い。滝本11時。途中の売店で芋の串焼きを食べて、水筒に水を入れさせてもらった。徐々に狭くなる谷あいの道を進むと袋田の滝に到着。滝は完全に凍結し、見事に蟬を流したような状態になっている。(左写真)

何年かに一度しか見られない光景を見ようとして来た観光客がカメラを持って群がっている。滝を見るためには観瀑券(¥100)を買って敷地内に入らなければならない。しばし人の群がりに加わって写真撮影と見物を楽しんだ後月居山への道に入った。急な登りを進むと、後方に滝を見下ろすことができる。

月居山(404mつきおりさん・つきおれさんとも言う)12時。冷たい風がかなり強く吹いていて長く休んでもいられないので、昼食もそこそこに12時25分に出発。

南北に走る稜線上は、西側の谷と北側斜面からの強風に煽られて陽があたっているのに空気が冷たい。どこか風をよけられる所はないかと探してみても、どこもかしこも寒い。しかしながら雲はなく眺望は最高。

日光や那須の山並みまでをうかがうことができる。寒いので小休止を一度とって景色を楽しんだだけで、男体山まで歩き続けてしまった。

男体山(653m)15時20分。風が強いのでここも通過。大円地越に下る途中で見つけた日だまりでようやくティーブレイク。冷えた体に少しだけ潤いを与えて16時に出発。

大円地に下って後ろを振り返ると男体山が見上げる高さ。しかも岩を抱いて、海拔653mとも思えぬ迫力で西日に輝いていた。湯沢鉱泉を抜けて沢沿いに西金駅まで一直線。(右写真：大円地からの男体山)

西金(さいがね)駅17時30分。最後のミカンを食べて、自動販売機の紅茶で暖をとりながら列車を待つ。西金発17時59分。水戸で駅弁を買ってスーパーひたちに乗車。この列車はノンストップなので早い。上野までの所要時間は1時間8分。上野着は20時23分。やはり山歩きの終わりは鉄道の旅の方が良い。冷たい風に苛められながらも滝見と景色とを楽しめた冬の茨城の山歩きの日だった。

以上

